



芝小だより

11月号

令和5年10月31日
発行者 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)

「集団生活を通して学ぶこと」

校長 川原 哲郎

先日行われた学校公開には、多くの保護者の皆様、地域の皆様に御来校いただきありがとうございました。子供たちの成長した姿、頑張って学習に取り組む姿、元気に遊ぶ姿などを見ていただけたのではないのでしょうか。

6年生は、10月16日から18日まで2泊3日で、箱根ニコニコ学園へ移動教室に行ってきました。天候にも恵まれ予定していたプログラムをすべて実施することができました。移動教室は、学校の教室を離れて学習をする場で、子供たちには「教室が移動するだけで、勉強しに行くところだよ」ということを話します。しかし、大きく違うことがあります。それは、寝食を共にする集団生活を送るということです。6年生はこれまでの小学校生活の中で、集団生活に必要なことをいろいろと学んできています。そのことを発揮する場でもあります。

集団生活に必要なことは、大きく分けると以下のことになると思います。

- ① 「思いやりの心をもつこと」相手のことを考えること。支え合い、協力することなど。
- ② 「規律を守り考えて行動すること」時間を守る。話を静かに聞く。あいさつをすることなど。
- ③ 「安全と健康」安全を考えた行動。危険なことを避ける。自分の健康状態を知ることなど。

これは、芝小の教育目標にも当てはまることです。学校は「小さな社会」と言われることがあります。集団生活の中で人との関わりを通してしか学べないことを学ぶことができます。けんかをする、仲直りをする、自分の言いたいことや気持ちがうまく相手に伝わらず言い争いになることなどもあります。このようなことを通して、譲り合う気持ち、我慢や辛抱をすること、友達と協働する楽しさや喜びなどが身に付いてきます。こうしたことが、これからの社会を生きていく子供たちにとって大切なことになってきます。

6年生は、3日間の移動教室でどれだけ力を発揮し、一人一人また、集団として成長することができたでしょうか。この経験が、卒業まで5カ月となった芝小での学校生活の中で、下級生のよき手本となり下級生を引っ張り、よりよい芝小をつくり上げていくために発揮されていくことを期待しています。

さて、11月は学習発表会があります。秋に行われる、大きな行事です。練習も本格的に始まっています。子供たち一人一人が目標をもって取り組むとともに、学年として一つのものをつくり上げみんなで喜び合える学習発表会にしていきたいと思えます。成功体験を積み、自己肯定感を高められる機会にできればと思います。御家庭でも励ましの言葉をかけ、応援していただければと思います。よろしくお願いします。

11月生活目標「力を合わせて仕事をしよう」

「勤労奉仕の精神 責任と自主性」

学校は集団で生活をするところです。従って、様々な「仕事」があり、それを互いに協力し合って取り組むことは教科の学習と同じくらい大切です。自分がやるべき仕事に責任をもって取り組むのは当然ですが、今月はさらにレベルアップして自分の役割ではないことでも、何かみんなのために、高学年であれば学校全体のために自分にできることをすすんで見つけ、立ち上がり、力を貸そうとする姿勢も持ってほしいと思えます。職員も自らの背中で示しつつ、指導していきます。

(生活指導部 田向 あかね)

学びの部屋

「もっと もっと まちたんけん」

2年生は10月5日(木)に2回目のまちたんけんに行きました。各グループで見学先に行くまでの道の歩き方や質問したいことなどを話し合いました。

当日、グループで協力して見学することができました。普段は入れないような場所を案内していただき、事前に用意していたものだけでなく見学した上で知りたいと思ったことを質問する姿も多く見られました。学校公開では、それぞれの見学先で知ったことを学年で発表し合い、質問し合いました。自分たちが住んでいるまちのよさをさらに感じられたようです。

(2年生担任 荒井 かりん)